

第24回 J-クレジット制度運営委員会 議事概要

J-クレジット制度運営委員会事務局

日 時 : 令和3年12月2日(木) 13:30-15:30

場 所 : 経済産業省 別館6階 626-628会議室および WEB 会議にて開催

委 員 : 山地委員長、二宮副委員長、大塚委員、後藤委員、須藤委員、須永委員、前田委員、松橋委員、丸山委員

事務局 : 環境省 : 井上室長、保角室長補佐
経済産業省 : 内野企画官、北原課長補佐
農林水産省 : 古藤課長補佐、中島係長
林野庁 : 箕輪課長、増山推進官
みずほリサーチ&テクノロジーズ(株) : 荻田上席主任コンサルタント、桂コンサルタント

【審議事項】

1.1 森林クレジットのカーボンニュートラル行動計画への活用(実施要綱)

- ・森林管理プロジェクト由来のクレジットをカーボンニュートラル行動計画に使えるよう、実施要綱を改定することについて、事務局より説明した。審議の結果、提案された実施要綱の改定を承認した。

1.2 プログラム型プロジェクトの認証対象期間延長の簡素化(実施要綱および実施規程(プロジェクト実施者向け))

- ・プログラム型プロジェクトの認証対象期間の延長を、プロジェクト計画変更における形式的な変更として実施できるよう実施要綱及び実施規程(プロジェクト実施者向け)の改定を行うことについて、事務局より説明した。審議の結果、提案された実施要綱及び実施規程(プロジェクト実施者向け)の改定を承認した。

1.3 プロジェクト二重登録不可に係る「同一内容の排出削減・吸収活動」の説明の追加(実施規程(プロジェクト実施者向け))

- ・プロジェクト二重登録不可に係る「同一内容の排出削減・吸収活動」の説明を実施規程(プロジェクト実施者向け)に追加することについて、事務局より説明した。審議の結果、提案された実施規程(プロジェクト実施者向け)の改定を承認した。

1.4 プログラム型プロジェクトの“共通属性”の一部簡素化(実施規程(プロジェクト実施者向け))

- ・プログラム型プロジェクトの削減活動に求められる“共通属性”のうち、共通属性の c(燃料供給先)と d(設備供給先)を統合し、また「燃料」に「電力」を併記することについて、

事務局より説明した。審議の結果、提案された実施規程（プロジェクト実施者向け）の改定を承認した。

1.5 ポジティブリスト改定内容のプログラム型プロジェクトへの適用（実施規程（プロジェクト実施者向け））

- ・プログラム型プロジェクトにおいて取りまとめられる個別削減活動（会員）の追加性評価の要否については、入会時に最新のバージョンの方法論を参照する旨を実施規程（プロジェクト実施者向け）に明記することについて、事務局より説明した。審議の結果、提案された実施規程（プロジェクト実施者向け）の改定を承認した。

1.6 地位特定でモニタリングプロットを設定しない場合の樹高の扱い（モニタリング・算定規程（森林管理プロジェクト用））

- ・地位の特定に係るモニタリングエリアグループが複数小班から成る場合、グループ内の林齢が複数に亘るケースがあることを踏まえ、モニタリングエリアグループ全域の平均上層樹高は、当該グループ内の最高林齢に適用する旨をモニタリング・算定規程（森林管理プロジェクト用）に注記することについて、事務局より説明した。審議の結果、提案されたモニタリング・算定規程（森林管理プロジェクト用）の改定を承認した。

2.1 方法論 EN-S-023 エコドライブを支援するデジタルタコグラフ等の導入（先進的なデジタルタコグラフの取り扱いの明確化）

- ・法令義務を満たす運行記録計（タコグラフ）を装着済みの車両でも、適用条件を満たすデジタルタコグラフ等に更新した場合にはプロジェクト対象とできるよう、方法論を改定することについて、事務局より説明した。審議の結果、提案された方法論の改定を承認した。

2.2 方法論 EN-R-004 バイオ液体燃料（方法論の対象への骨油の追加）

- ・バイオ液体燃料方法論（EN-R-004）の対象を拡大し、骨油など鳥獣由来のバイオオイルも対象にできるよう、方法論を改定することについて、事務局より説明した。審議の結果、提案された方法論の改定を承認した。

2.3 方法論 F0-001 森林経営活動（方法論適用条件、およびモニタリング対象の森林の写真撮影に関する改定）

- ・間伐適齢より若い林分のみがプロジェクト実施地となる特殊なケースにおいて、認証対象期間内に植栽又は保育が計画されていることを条件付きで認めるよう方法論を改定すること、モニタリング対象森林の写真撮影の回数・方法を簡素化するよう方法論を改定することについて、事務局より説明した。審議の結果、提案された方法論の改定を承認した。

【検討事項】

3. 方法論 AG-004（バイオ炭の農地施用）の対象拡大等に関する検討

- ・永続性担保に係るプロジェクト登録後の義務について、「プロジェクト実施者の負担を軽減する方策として、要件の撤廃も視野に入れて検討してはどうか。」という事務局案を提示し、議論を行った。
- ・現行のバイオ炭方法論において対象となっているバイオ炭の施用地について、「対象拡大を検討できないか。」という事務局案を提示し、議論を行った。
- ・現行のバイオ炭方法論において対象となっているバイオ炭の原料について、「廃菌床、コーヒー滓、藻類も対象としてはどうか。」という事務局案を提示し、議論した。

4. 認証工程の簡素化に向けた検討

- ・クレジット認証工程について、簡素化した場合のフローを事務局より提示し、検討の方向性の大枠について議論した。

【報告事項】

5. J-クレジット制度の最近の動向

- ・J-クレジット制度の最近の動向について、事務局より説明した。

6. CORSIA への申請について

- ・CORSIA における J-クレジット活用に向けて、J-クレジット制度における今後の検討の方向性と、CORSIA への申請内容の概要について、事務局より説明した。

7. 森林由来クレジットの創出拡大について

- ・森林由来クレジットの創出拡大に向けて、追加性要件、主伐時の排出計上、伐採木材製品中の炭素固定量、プロジェクト対象区域内の天然林の吸収量といった4つの論点について、今後の検討方向を事務局より説明した。

文責：事務局